

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 35週 > 流行性耳下腺炎 - 過去10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第35週の報告数は218で、第35週時点での累積報告数は3,311



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 咽頭結膜熱 / 無菌性髄膜炎 / 流行性角結膜炎



速報
P.6

B群コクサッキーウイルス5型を原因とする無菌性髄膜炎の地域流行 - 奈良県



海外感染症情報
P.7

コートジボワールで黄熱の流行 / ノルウェーのレジオネラ症流行 / 他



感染症の話
P.8-9

無菌性髄膜炎
多種多様な病原体が関与しているが、全体の約85%がエンテロウイルスによるものであるために、基本的な流行パターンはこのウイルス属の状況を反映する



読者のコーナー
P.10

アメーバ性肝膿瘍の届け出について



グラフ総覧(35週)
P.11-17



35週のデータ
P.18-25



発生動向総覧

第35週コメント 9月7日集計分

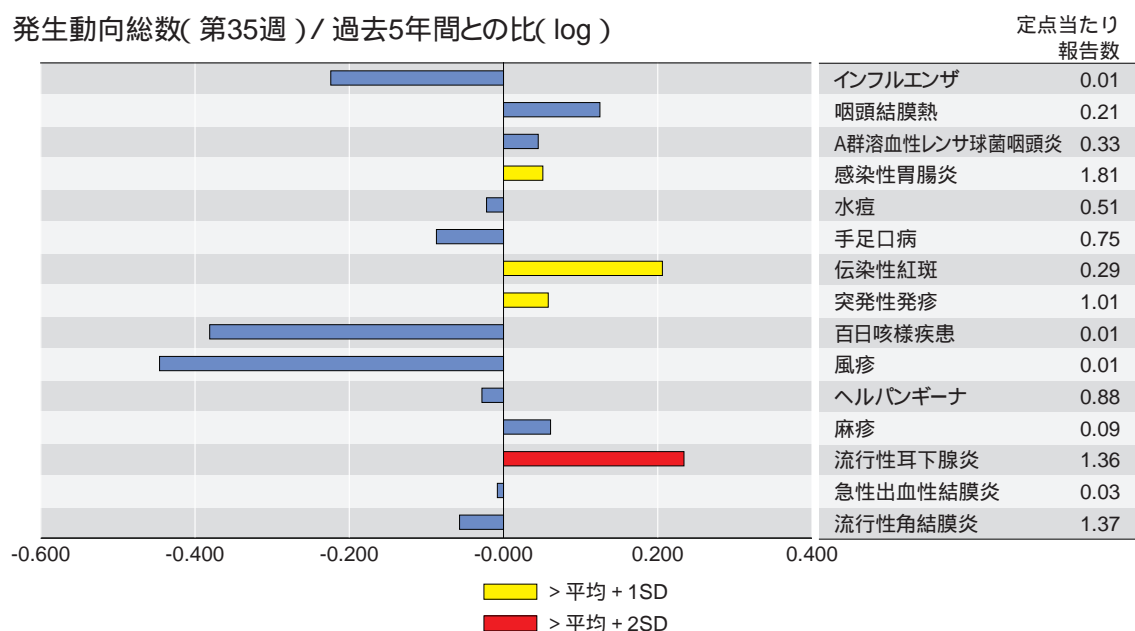
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: 国内) 細菌性赤痢19例(推定感染地: 国内、中国、タイ各4例、インド2例、イラン、セネガル、ウズベキスタン、トルコ、不明各1例) 腸チフス1例(推定感染地: パキスタン) パラチフス1例(推定感染地: インドネシア)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症218例(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、ライム病2例
 急性ウイルス性肝炎10例 A型6例
 B型2例__感染経路: とともに不明
 EBウイルス2例
 クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)
 後天性免疫不全症候群8例(AIDS 4例、無症候性キャリア4例)
 感染経路: 性行為6例(異性間3例、同性間2例、異性/同性間1例) 不明2例
 梅毒6例(早期顕症5例、無症候1例) マラリア1例(熱帯熱__推定感染地: ウガンダ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、過去10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が第19週から続いている。都道府県別では石川県5.28、沖縄県4.44、佐賀県3.65などの報告が多かった。感染性胃腸炎、伝染性紅斑などはオフシーズンであるが、定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

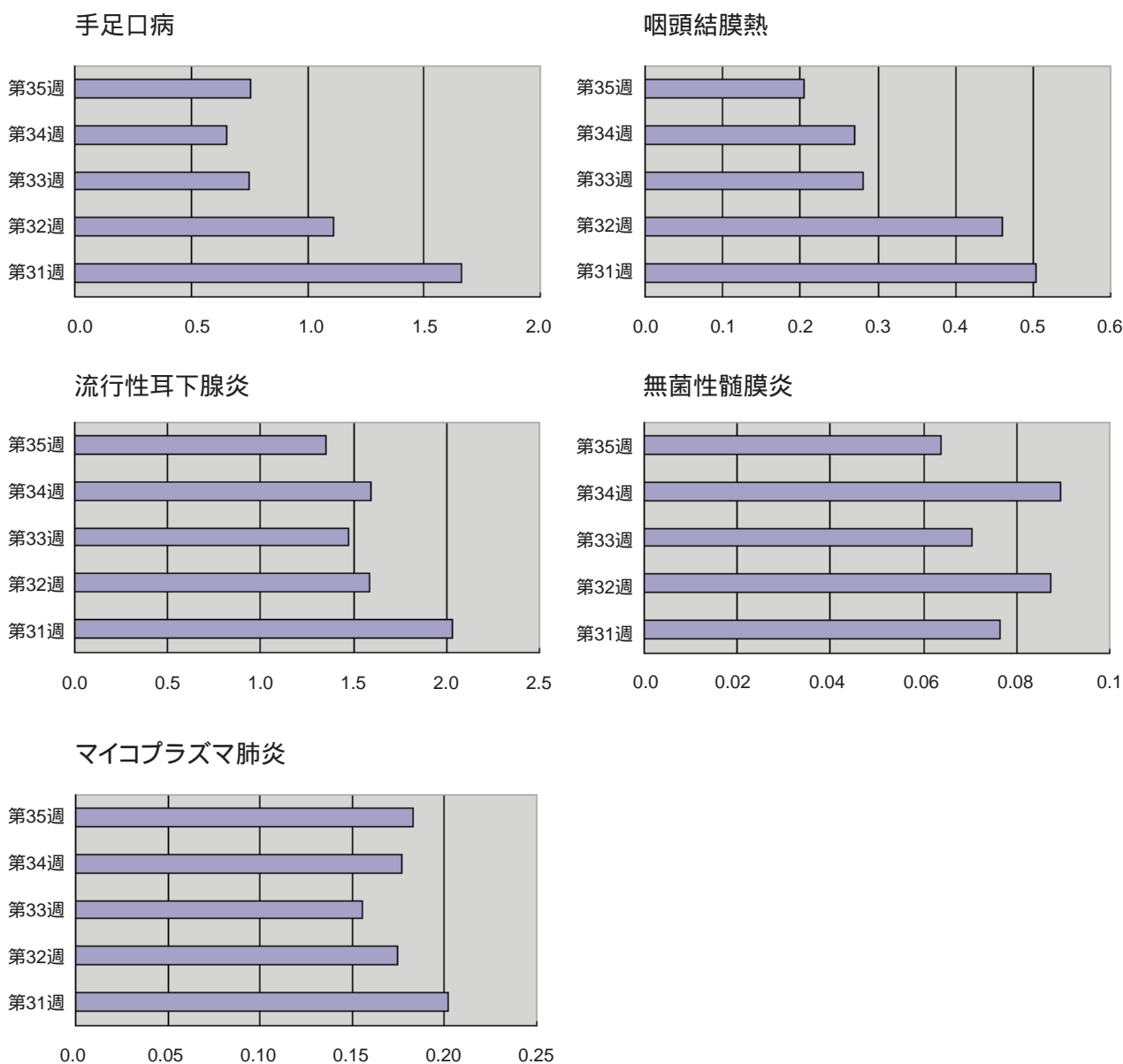
発生動向総数(第35週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病については、第28週をピークとしてその後6週間は毎週減少してきたが、第35週にはやや増加した。咽頭結膜熱については、第19週より増加傾向を示してきたが、第30週にピークを形成し、その後5週間は毎週減少している。流行性耳下腺炎については、第19週より増加傾向を示してきたが、第28週にピークを形成し、その後は次第に減少しつつある。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は、前週に比べて減少した。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、前週と比べてほとんど不変である。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

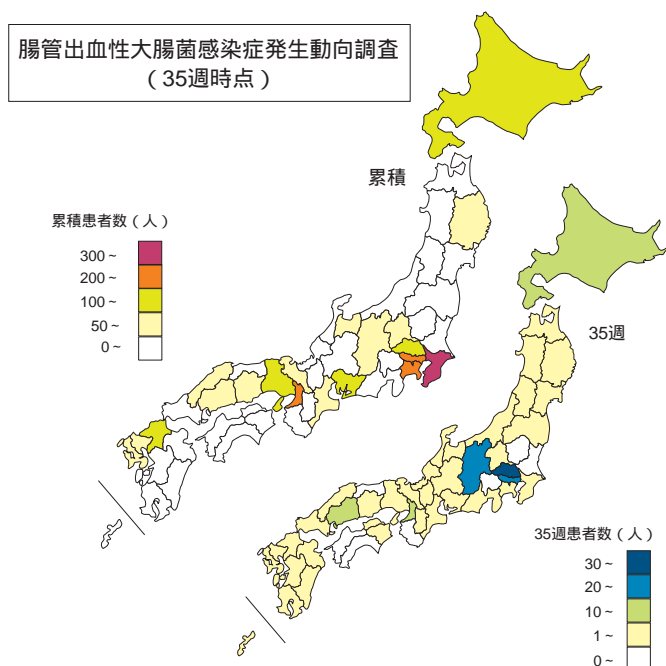


注目すべき感染症

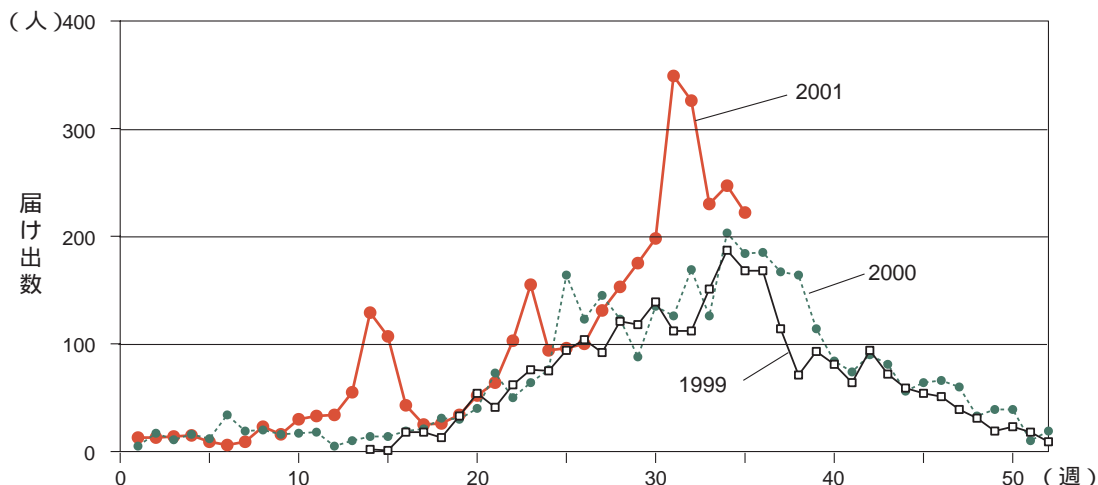
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には早期から複数のO157感染症が広域発生した影響で、昨年に比べ患者報告数が早い時期から多くみられている。第35週の報告数は218で、都道府県別では埼玉県35例、東京都27例、長野県22例などの報告が多い。

第35週時点での本年の累積報告数は3,311であり、都道府県別では千葉県338例、大阪府273例、東京都259例などの報告が多い。本年度の累積報告数を5歳刻みの年齢階級別にみると、0～4歳706例、5～9歳466例、10～14歳296例の順であるが、他の年齢層でも一定の割合で発生が見られる(検出された病原体については5ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症 (無症状保菌者含む) 届け出状況





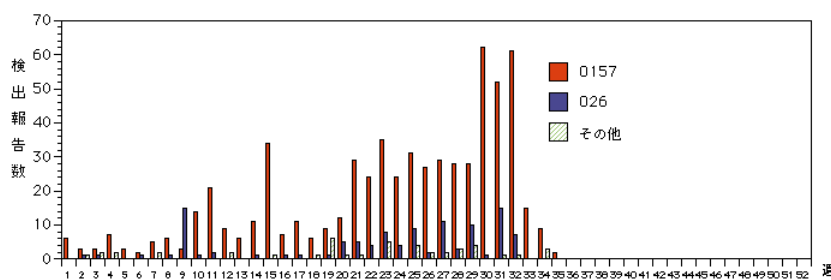
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年9月7日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が634件、O26が111件である。第31~32週にかけて、兵庫県保育所で起きたO157集団発生事例報告17件の他に、秋田県の福祉・養護施設で起きた集団発生事例から、O157が16件報告された。最近では、O157が第33週15件(佐賀県7、秋田県3、函館市2、山形県1、東京都1、京都市1)、第34週9件(佐賀県5、熊本市2、浜松市1、大阪市1)、第35週2件(大阪市1、熊本市1)、O26が第32週に7件(島根県4、富山県2、京都市1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年9月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

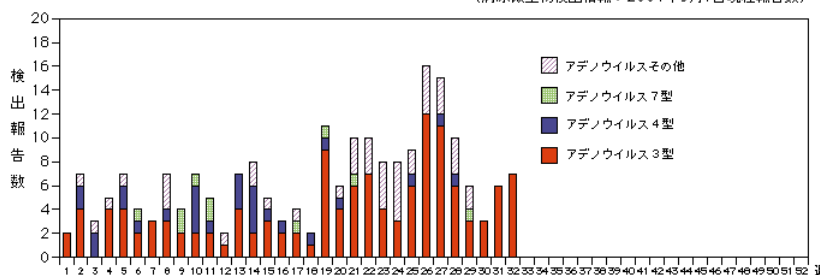


咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型87件(仙台市26、長野県17、新潟県13、愛知県7、東京都4、愛媛県4、札幌市3、奈良県3、大分県3、石川県、山梨県、滋賀県、兵庫県、岡山県、福岡市、熊本市各1)、2型21件(仙台市11、長野県3、兵庫県3、新潟県2、岡山県、福岡県各1)、5型6件(兵庫県2、仙台市、岡山県、島根県、北九州市各1)、1型5件(広島市2、兵庫県、熊本県、熊本市各1)、4型5件(新潟県2、札幌市、兵庫県、福岡市各1)、7型3件(北九州市3)である。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報: 2001年9月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス29件(東京都8、新潟県5、広島県4、大阪市3、京都市2、愛媛県2など)、エコーウイルス(E)82件(11型67、6型8、3型3、25型2、16型1、18型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)67件(5型54、3型9、4型3、6型1)、A群コクサッキーウイルス(CA)6件(9型3、4型1、6型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス37型14件(岡山県5、熊本県4、札幌市3、長野県1、大阪市1)、3型12件(札幌市4、長野県2、愛知県2、熊本県2、茨城県、東京都各1)、19型7件(長野県2、札幌市、山形県、大阪府、岡山県、広島市各1)、8型5件(札幌市2、茨城県1、横浜市1、岡山県1)、2型1件(京都市)、6型1件(長野県)である。



B群コクサッキーウイルス5型を原因とする無菌性髄膜炎の地域流行 - 奈良県

2001年7月末、本県の中部に位置する非定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断された15名中12名から、B群コクサッキーウイルス5型(CB5)を分離(髄液8株/13例、便8株/9例、咽頭ぬぐい液10株/15例)した。分離細胞はHEp-2、MA-104、およびRD-18Sの3種類を用いたが、HEp-2細胞が最も感受性が良く、細胞変性効果は検体接種後1~2日目で明瞭であった。中和試験はいずれの検体も良好な結果であった。

患者は11カ月児~13歳児で14名が同市内に、残り1名についても近隣に居住していた。発病日は7月15日~23日の間に集中し(18日が最多) 臨床症状は発熱が全例にみられ(37.5~40.5) 発熱期間は平均7.2日(5~10日) 嘔吐9名、頭痛10名、項部強直3名であった。髄液の臨床検査はリンパ球、好中球および単球様細胞を含む総細胞数の強度増加(50~<1,000 cells/ μ l)が14名、リンパ球を主とする強度増加は8名が50cells/ μ l以上であった。また、タンパク濃度は40mg/dl以下の正常値を示すものが12名であった。40mg/dlを超えるものは3名(81、58、49mg/dl)で、うち2名からはウイルスは検出されなかった。

この地域流行を除く定点医療機関から報告されたCB5分離患者の臨床診断名は、急性気管支炎(12)、ヘルパンギーナ(4)、無菌性髄膜炎(3)、胃腸炎(3)、肺炎、扁桃腺炎および頸部リンパ節炎(各々1)である。

本県の感染症発生動向調査によると、1989(平成元)年以降では1994年に同型のウイルスが無菌性髄膜炎患者から20株分離されており、それ以来の流行である。現在、同病院からさらに31名の患者材料が搬入され、検索中である。

奈良県衛生研究所・予防衛生課

北堀吉映 足立 修 田口和子 立本行江 青木喜也

済生会中和病院・小児科

松山郁子 丸橋欣之 吉澤弘行

(IASR2001年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

コートジボワールで黄熱の流行

WHO/CSR 2001年9月4日

保健省は、コートジボワール全域から死亡14例を含む黄熱疑い患者128例が発生したことを報告した。このうち20例が、コートジボワールにあるパスツール研究所で確定診断された。

アビジャン(人口350万人)では、20例の疑い患者が報告された。そのうち6例が検査で確定診断され、4例が死亡した。2001年9月4日までにアビジャンの10地区のうち、5地区から患者の発生が報告された。今回の流行は、最近10年間で初めてのアフリカでの都市型黄熱の流行である。

この流行に対して保健省は、確定診断された患者がみられた地域で予防接種を行ってきた。アビジャンでは現在2地区で予防接種キャンペーンを行っており、間もなく別の地区でも開始される予定である。

先週、WHOの緊急対策チームがアビジャンに到着し、保健省と共に活動している。保健省の要望に応じて、WHOは緊急の集団予防接種キャンペーンの実施を援助し、技術的支援および後方支援を行っている。

ノルウェーのレジオネラ症流行

WHO/CSR 2001年9月5日

2001年9月4日現在、ノルウェーのオスロにある国立公衆衛生研究所(NIPH)は、西海岸のStavangerで死亡2例を含むレジオネラ症患者19例(17例は尿中抗原による確定診断例、2例は疑い例[probable cases])の発生を報告した。

最初の患者は7月26日に発症し、最後の患者は9月1日に発症した。患者全員がStavanger中心部の特定の地区を訪れた10日以内に発症した。

NIPHと協力して地区の保健当局は、この地区内において公園の噴水や複数の冷却塔を含むいくつかの感染源として疑われるものを特定した。これらの場所から採取された検体は、検査結果待ちとなっている。感染源と疑われる噴水は停止され、近隣のすべての冷却塔は消毒された。

チャドでコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年9月5日

2001年9月4日現在、WHOはチャドの南西部でのコレラ流行について、累積患者数3,557例、死亡113例(致死率3.2%)を報告した。

前回の報告(8月21日)からの患者総数の増加(1,099例)は、必ずしもこの2週間でのコレラ患者の増加を示すわけではなく、むしろ報告の遅れによるものである。

コレラの流行はチャドの国境を越えて、カメルーンの北部に波及している。カメルーン保健省は累積患者数158例、死亡3例を報告した。



感染症の話

無菌性髄膜炎

「無菌性髄膜炎」の用語は、厳密な意味での診断名ではなく、患者由来髄液の検査において通常の塗沫染色標本、および一般細菌培養にて病原体が検出できない場合の臨床診断名として用いられているものであり、したがって、多種多様な病原体が関与している疾患群である。しかしながら臨床的の現場においては、「無菌性髄膜炎」はウイルス性髄膜炎を念頭に置いて語られることが多い。

疫学

上述のごとく、無菌性髄膜炎には多種多様な病原体が関与しているので、必ずしも一定の疫学的パターンをとるとは限らない。しかしながら、全体の約85%がエンテロウイルスによるものであるために、基本的な流行パターンはこのウイルス属の状況を反映することが多い。すなわち、初夏から発生が増加し始め、夏から秋にかけて流行が見られる。罹患年齢は幼児及び学童期が中心である。また、抗体保有状況により種々のタイプのエンテロウイルスが周期的に流行することが報告されている。

病原体

無菌性髄膜炎の範疇には多種多様な病原体がある。ウイルスが最も多いが、このうちでもエンテロウイルスが全体の約85%を占める。エンテロウイルス属の中でも多くのウイルス種がこの疾患をおこすが、国内ではエコーウイルス(E)とB群コクサッキーウイルス(CB)が多い。過去にE30、E6、E7、あるいはCB5、CB3、CB4などによる流行が報告されている。その他のウイルスとして、エンテロウイルス71、ムンプスウイルスなどがあげられる。本年2001年には流行性耳下腺炎の流行に伴い、ムンプスウイルスの検出が例年より多くなっている。

肺炎マイコプラズマも無菌性髄膜炎の原因の一つとして重要である。結核、ライム病、回帰熱、ブルセラ症、レプトスピラ症なども疾患の一部として無菌性髄膜炎を発症する。また、細菌性(化膿性)髄膜炎が不完全に治療された場合もこの疾患形態をとることがあり、注意が必要である。真菌性髄膜炎や広東住血線虫症などの寄生虫性疾患も、無菌性髄膜炎の形をとることがある。

感染経路は病原体により異なるが、エンテロウイルスの場合には、基本的に患者、あるいは無症状病原体保有者からの糞口感染、飛沫感染による。

臨床症状

起因病原体によって異なるが、エンテロウイルスによるものを代表としてあげる。潜伏期は通常4~6日で、発熱と頭痛、悪心・嘔吐などで発症する。また、項部硬直やKernig徴候などの髄膜刺激症状を呈することがある。発熱は38~40度で症例により様々であるが、5日間程度持続し、時に非特異的な急性熱性疾患が先行する二相性となる。頭痛は前頭部痛、後眼窩痛であることが多く、また羞明を見ることもある。また、腹痛、下痢もよくみられる症状である。咽頭炎症状も同時に見られることがあり、また、原因となるウイルス種によっては発疹もみられることがある。乳幼児の場合には、発熱、不機嫌、易刺激性、嗜眠がよくみられ、だっこされるのを嫌うことも経験される。

検査所見では、髄液で細胞数増多がみられる。範囲は通常数十~数千/mm³と広いが、概ね100~500程度が多い。病初期は好中球が優位なことが多いが、その後リンパ球優位に逆転する。蛋白は軽度上昇することが多いが、糖は通常正常範囲内である。髄液の塗沫染色標本で微生物は認められず、一般細菌培養でも検出されない。

病原診断

本疾患の診断は、基本的には病原体診断を行うことである。

髄液の塗沫検査、細菌培養を適切かつ十分に行うことで、一般的な細菌性の原因を除外することが最も重要である。また、随伴症状、臨床所見、野外活動歴、ダニ咬傷歴などに関して注意深く病歴を聴取し、一般的な細菌やウイルス以外の病原体、例えばスピロヘータ、結核菌、真菌、寄生虫などの可能性についても疑い、そのための髄液検査を十分行うことが鑑別の糸口になる。少しでも疑いがあれば、反復して髄液検査を行うことが重要である。

ウイルス性の場合には、髄液からウイルスを分離すれば確定診断となる。咽頭ぬぐい液や便などからウイルスが分離された場合には、そのウイルスに対する中和抗体の上昇を確認することが確定診断につながる。

治療・予防

診断は付かなくても絶えず細菌感染症の可能性を念頭に置く必要があり、通常入院治療が必要である。ウイルス以外であると確定された場合には、病原体特異的な治療が行われる必要がある。対症療法としては、脱水のために輸液療法が必要になることが多い。

予防としては、エンテロウイルスによるものでは、特に流行期にはうがい、手洗い、患者との濃厚な接触をさける、などが重要である。

感染症法における取り扱い

無菌性髄膜炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約500の基幹定点から報告が毎週なされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下の2つの基準をすべて満たすもの

(1)以下の臨床症状を呈するもの

- ・発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とする
- ・項部硬直。Kernig徴候、Brudzinski徴候などの髄膜刺激症状

(いずれも新生児や乳児などでは臨床症状が明らかではないことが多い)

(2)以下の検査所見を有すること

- ・髄液細胞数の増加(単核球優位であることが多い)かつ、髄液蛋白量、糖量が正常であるもの

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

尚、備考として、原因となる病原体が病原体診断や血清学的診断によって判明した場合には、病原体の名称についても併せて報告することとなっている。

学校保健法での取り扱い

本疾患は、学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定はされていない。本疾患は急性期には入院を含む加療が必要となることが多く、登校開始の時期については、患者本人の状態によって判断すべきであると考えられる。

(国立感染症研究所感染症情報センター)



読者のコーナー

Q: 1999年4月から施行の感染症法での届け出について質問します。赤痢アメーバによる病気でも赤痢症状はなく、アメーバ性肝膿瘍だけの症例もかなりありますが、この場合には4類感染症として届け出る必要があるでしょうか? 同法では病名として「アメーバ赤痢」となっているので、アメーバ性肝膿瘍だけの場合には届け出る必要がないようにも受け取れますが...。(石川県研究者I氏)

アメーバ性肝膿瘍の届け出について

当時の厚生省保健医療局結核感染症課長通知「感染症新法に基づく医師から都道府県知事等への届出のための基準について」において、アメーバ赤痢に腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症を含めており、赤痢アメーバの検出についても便からのみならず、膿瘍液からの検出も含めています。このようなことから、アメーバ性肝膿瘍だけの場合でも届け出る必要があります。また、赤痢アメーバの直接的検出でなくても、血清抗体の上昇でも代用は可能です。

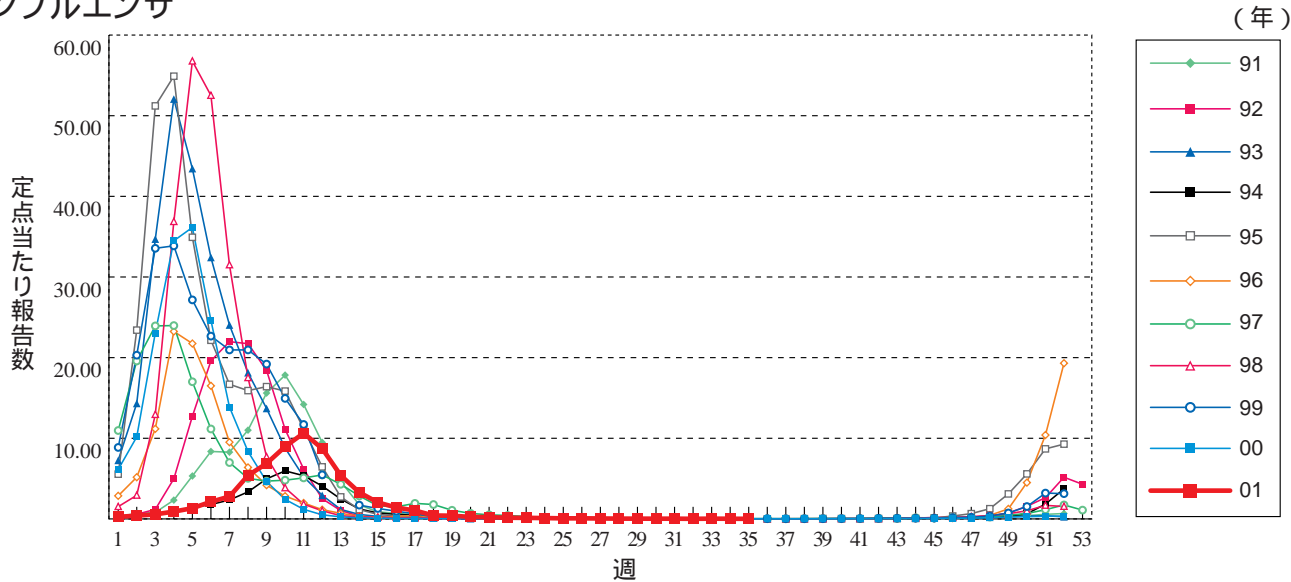
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

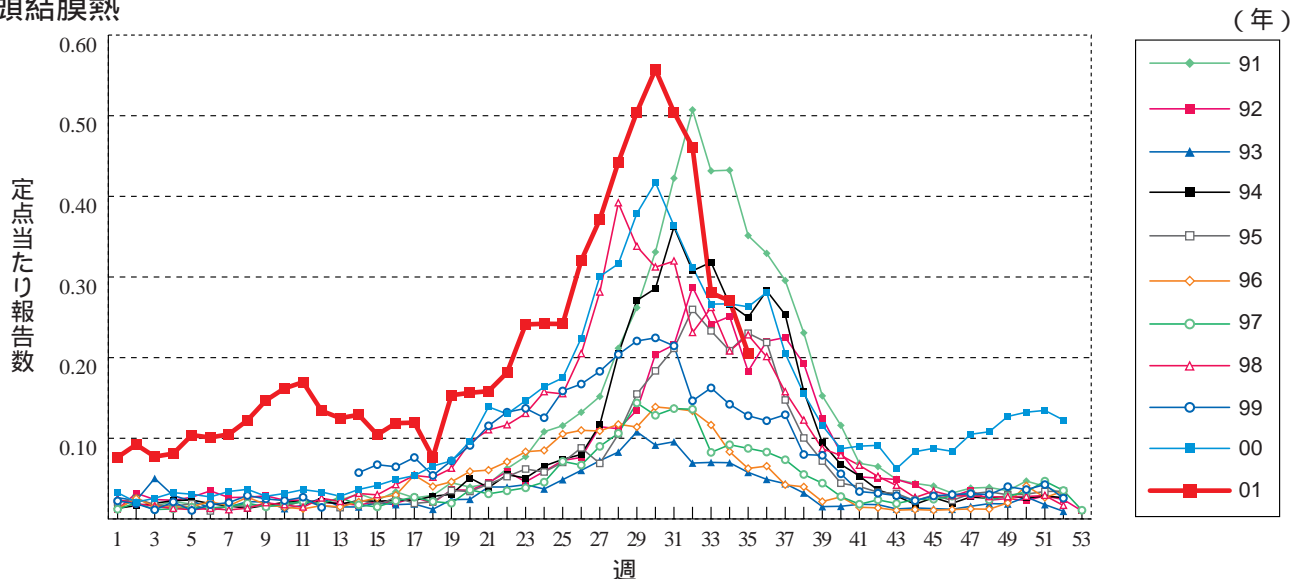
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(35週)

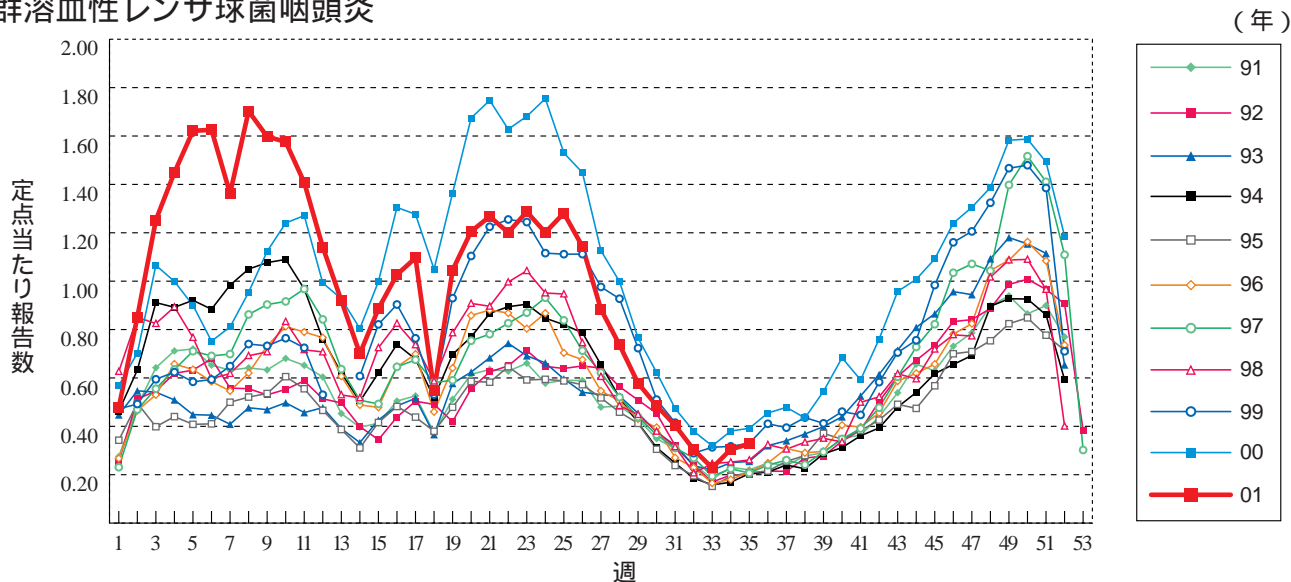
インフルエンザ



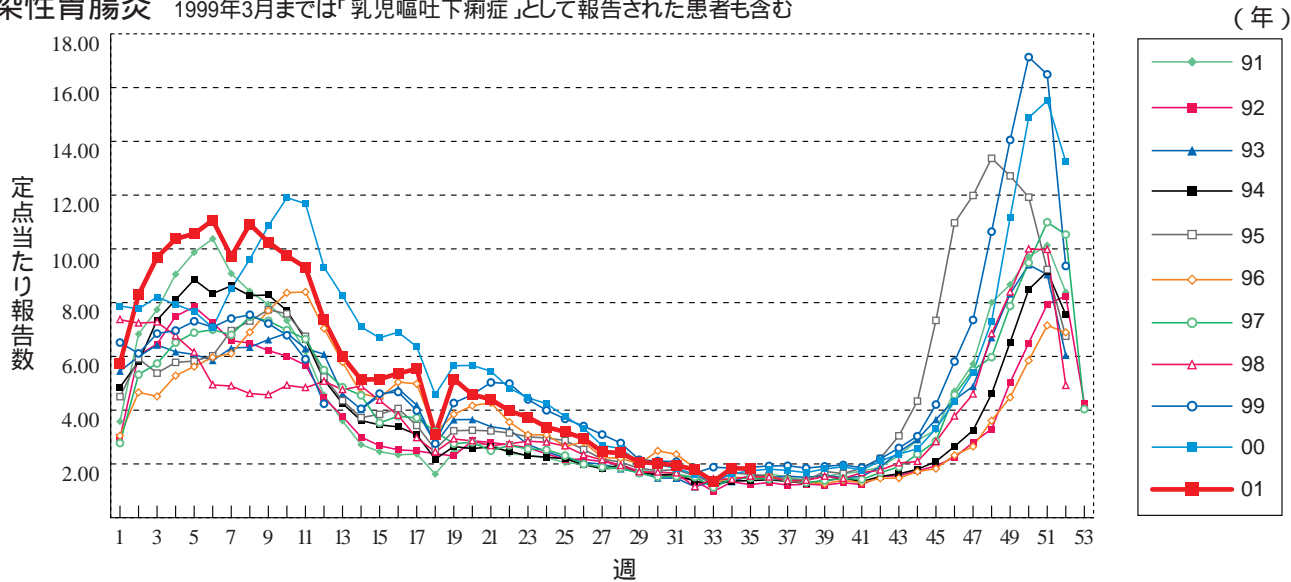
咽頭結膜熱



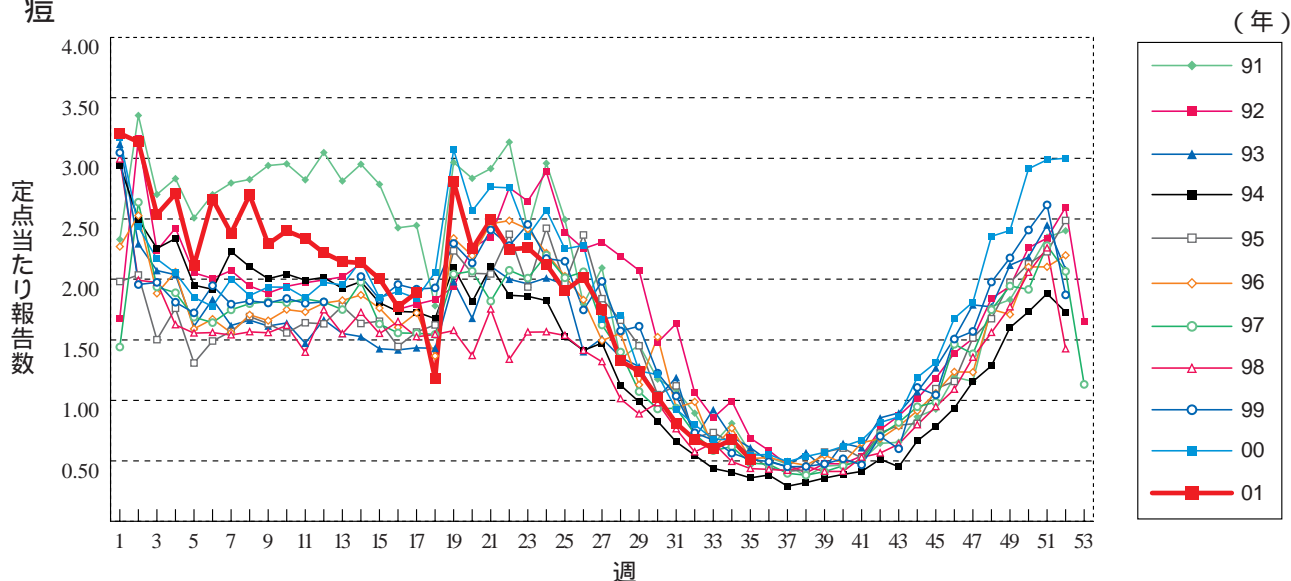
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



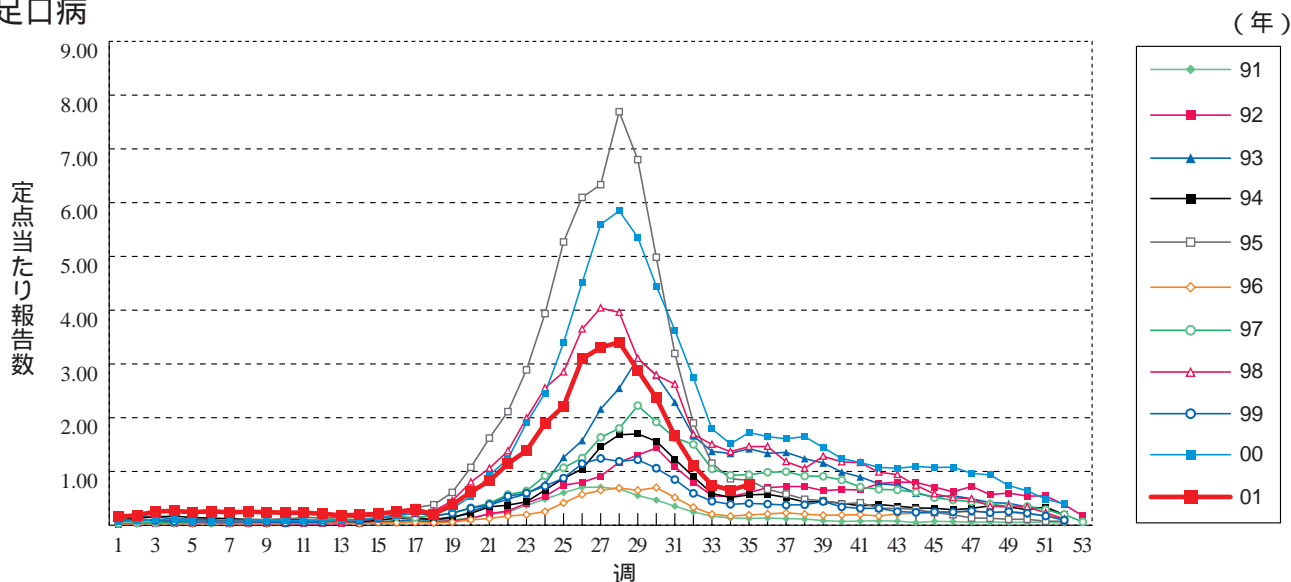
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



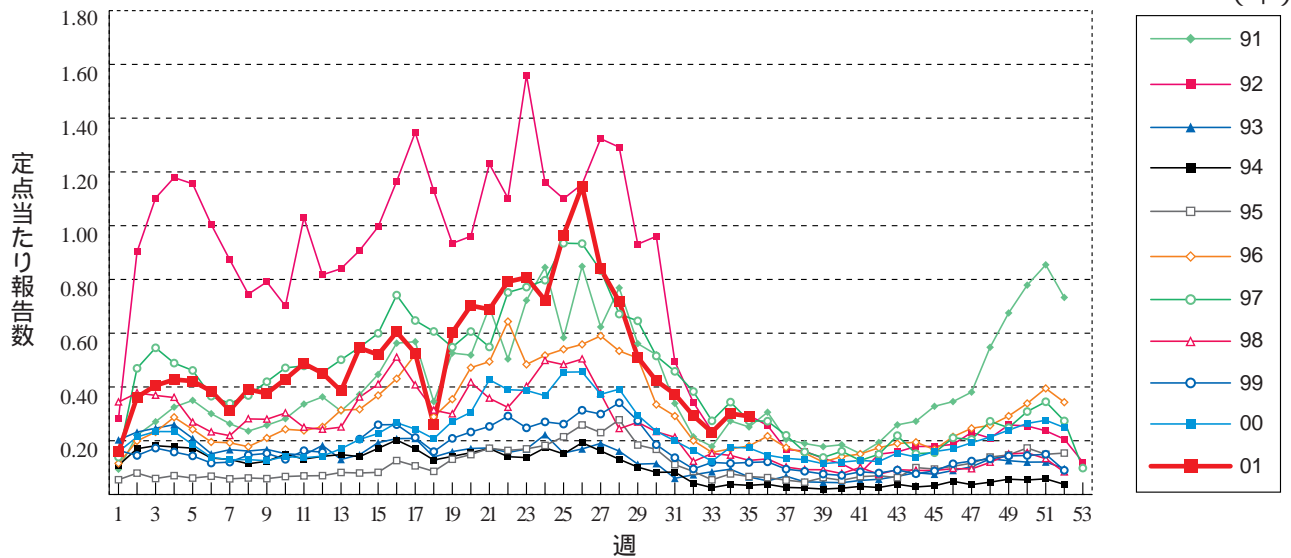
水痘



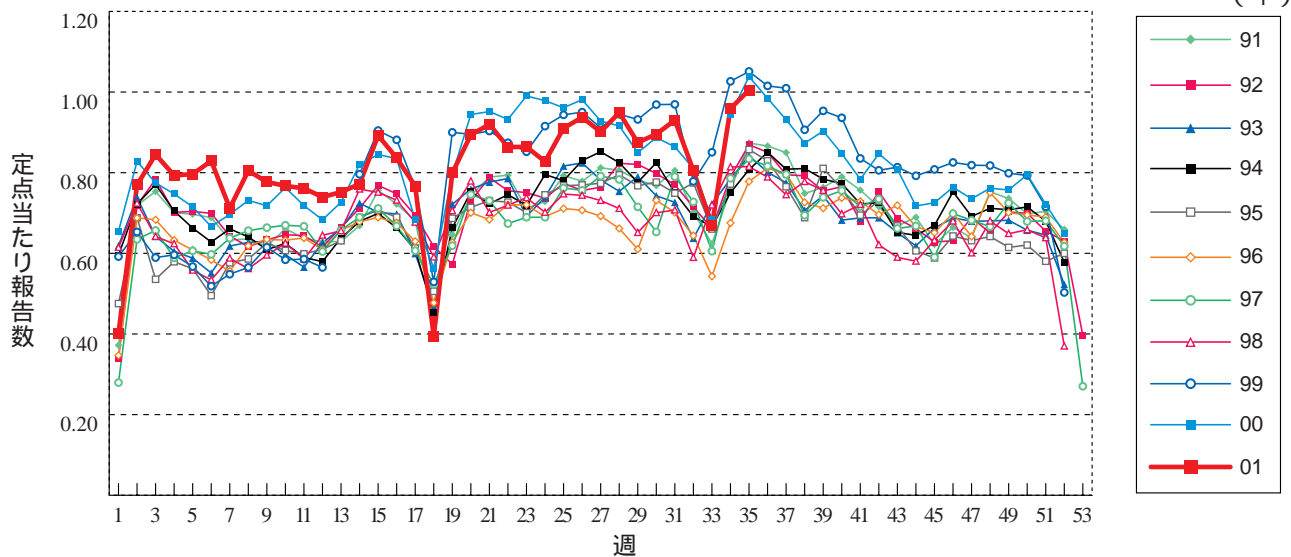
手足口病



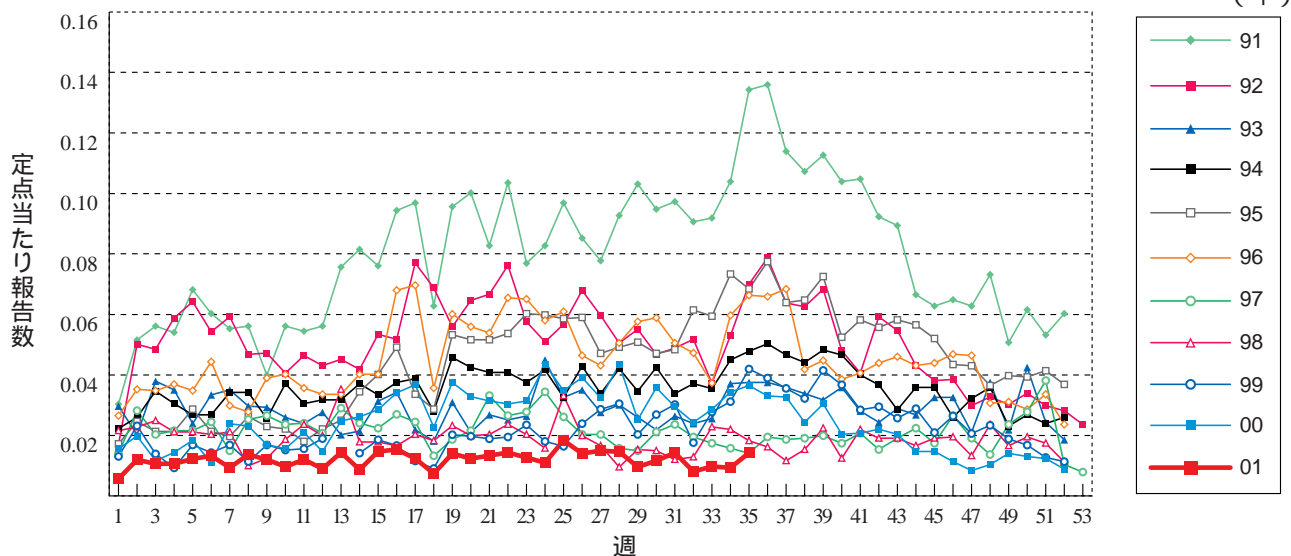
伝染性紅斑



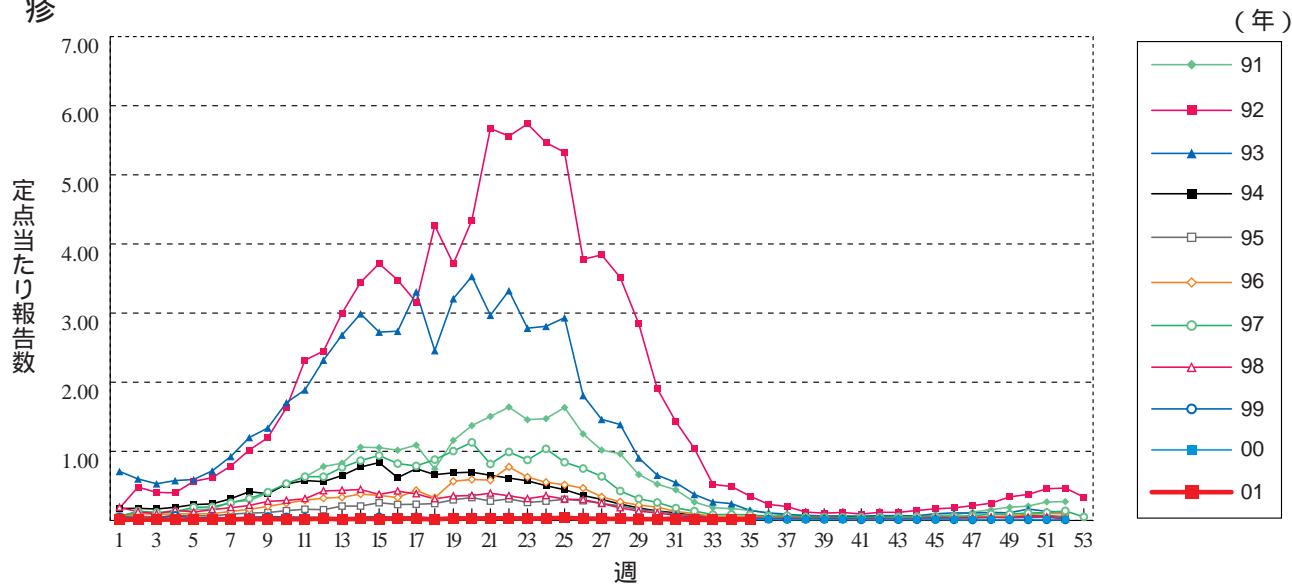
突発性発疹



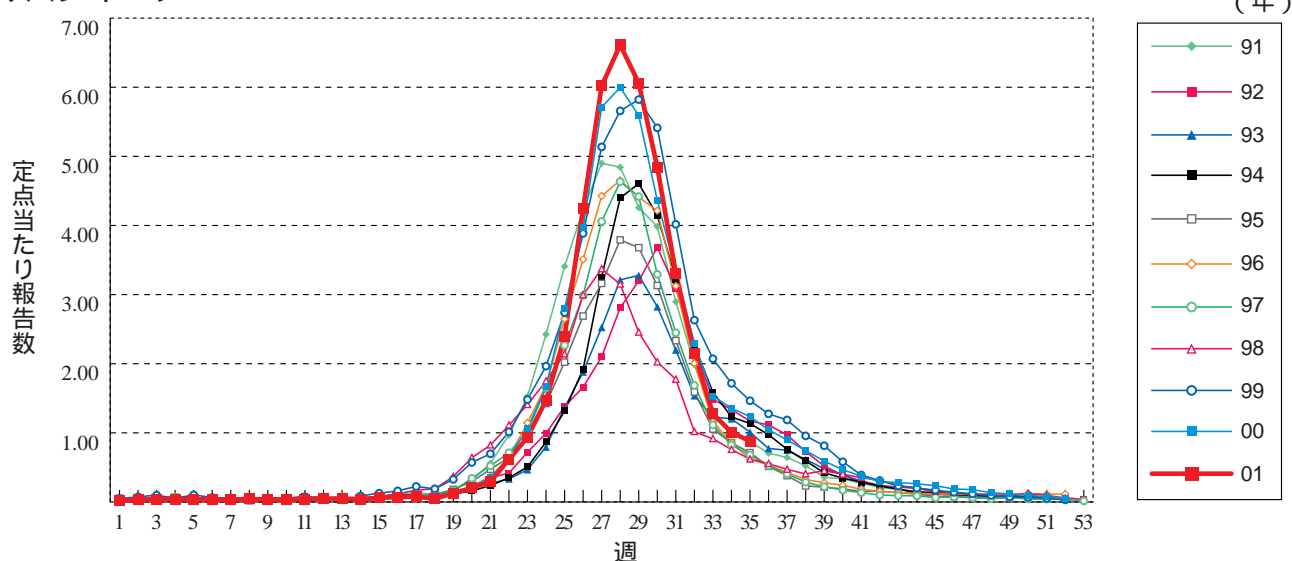
百日咳



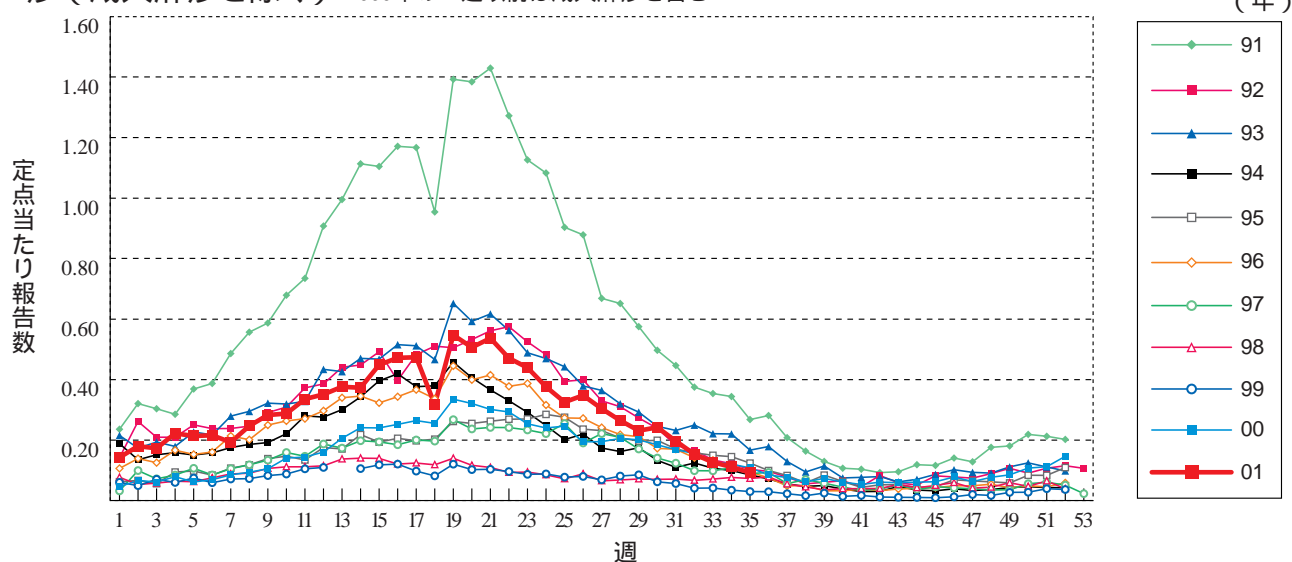
風 疹



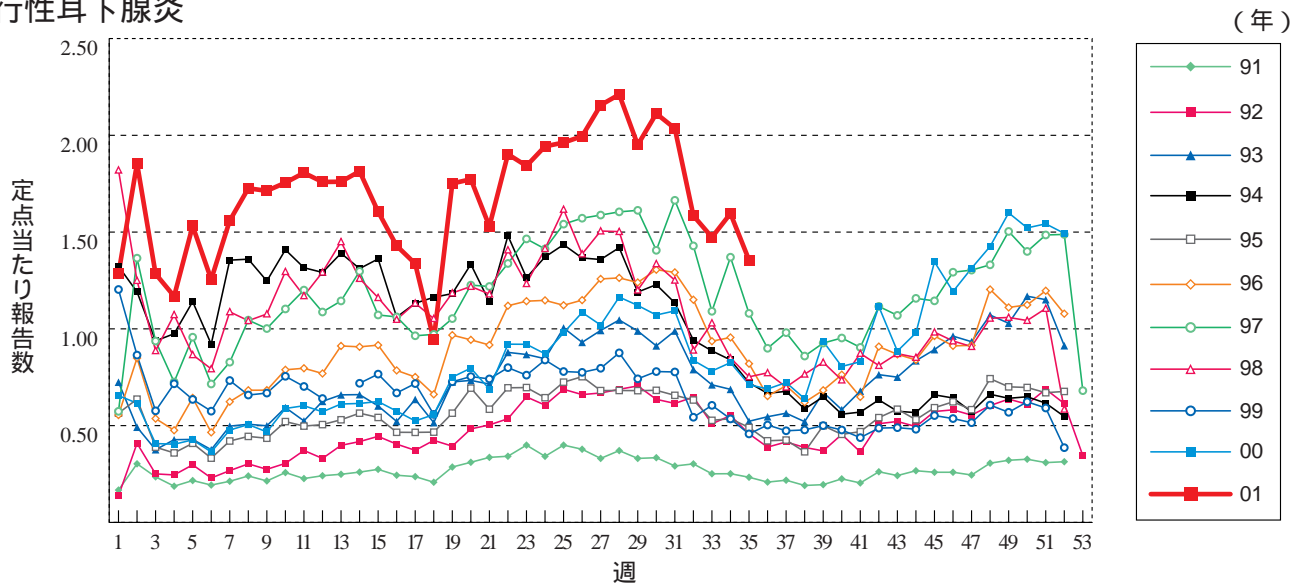
ヘルパンギーナ



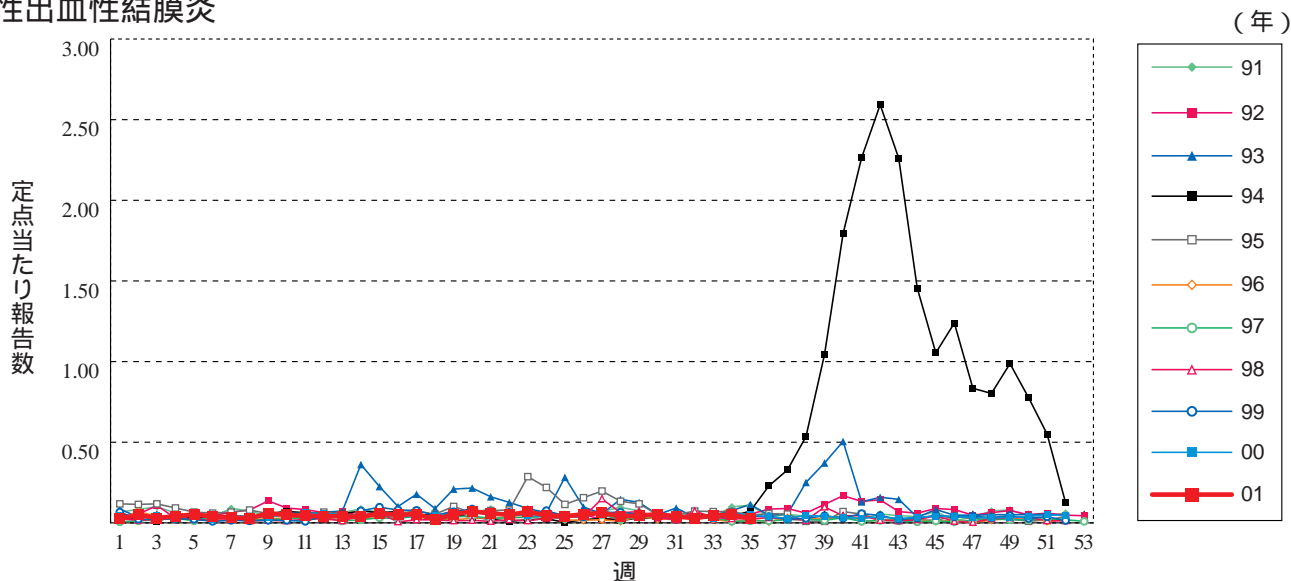
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



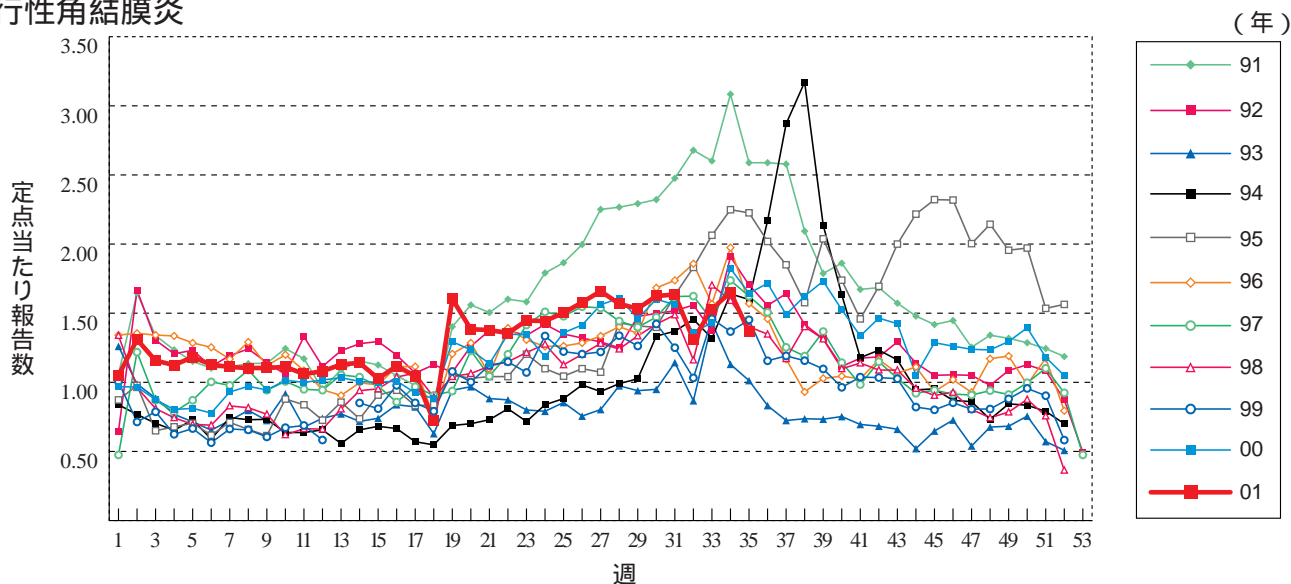
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

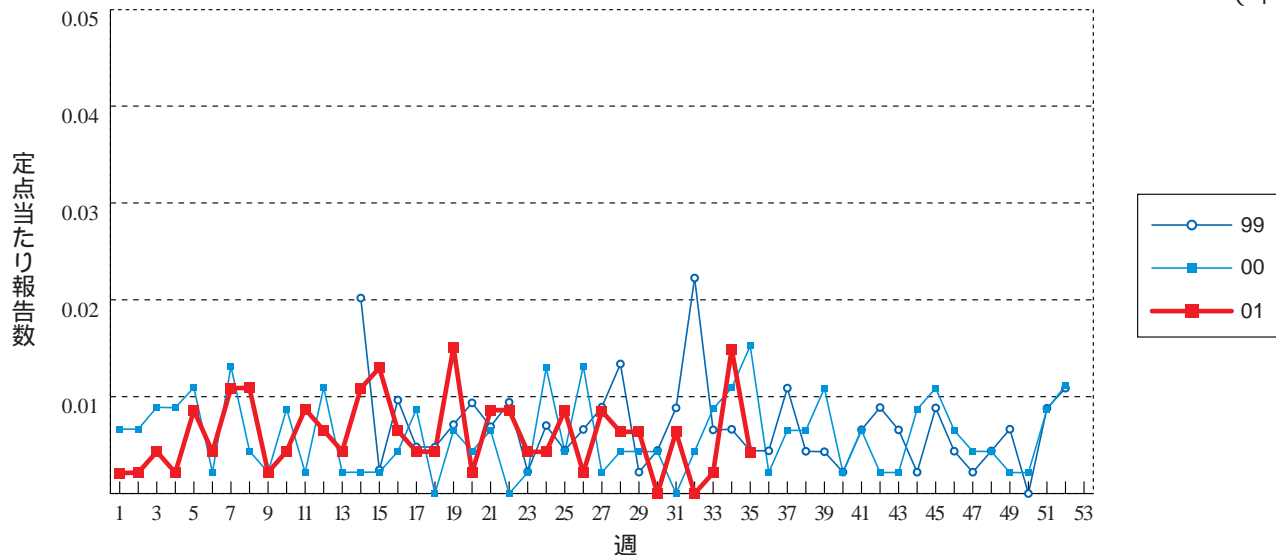


流行性角結膜炎



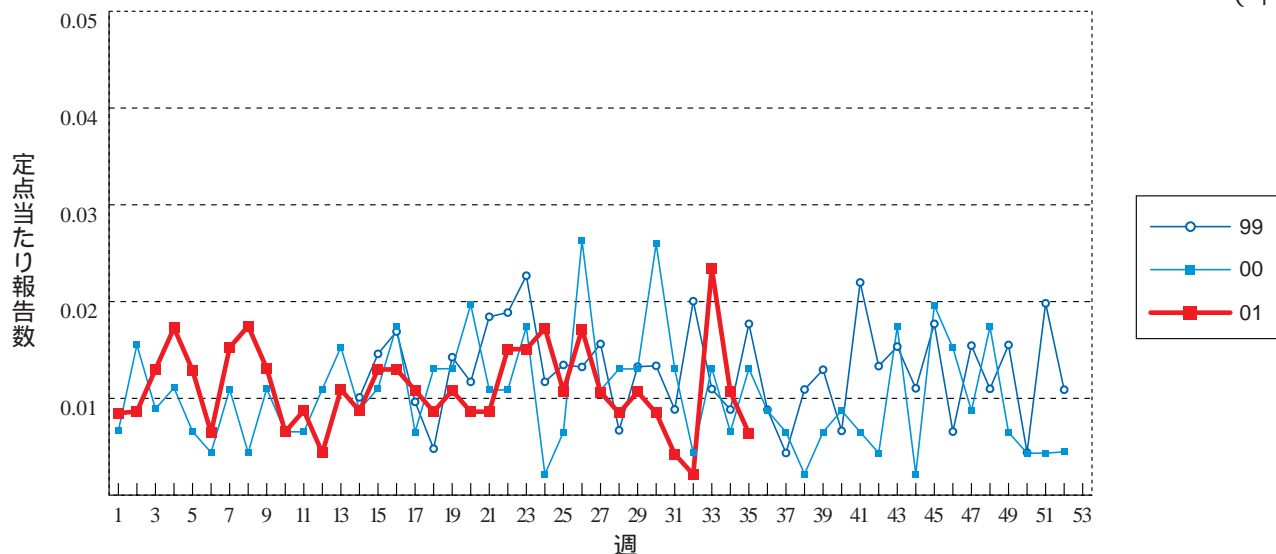
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



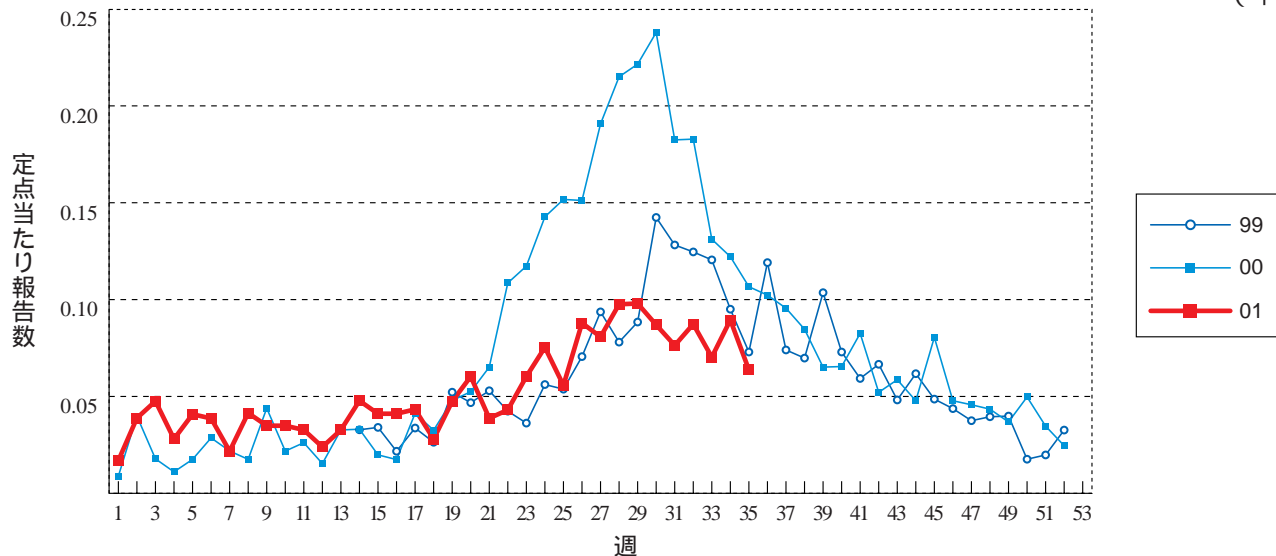
細菌性髄膜炎

(年)

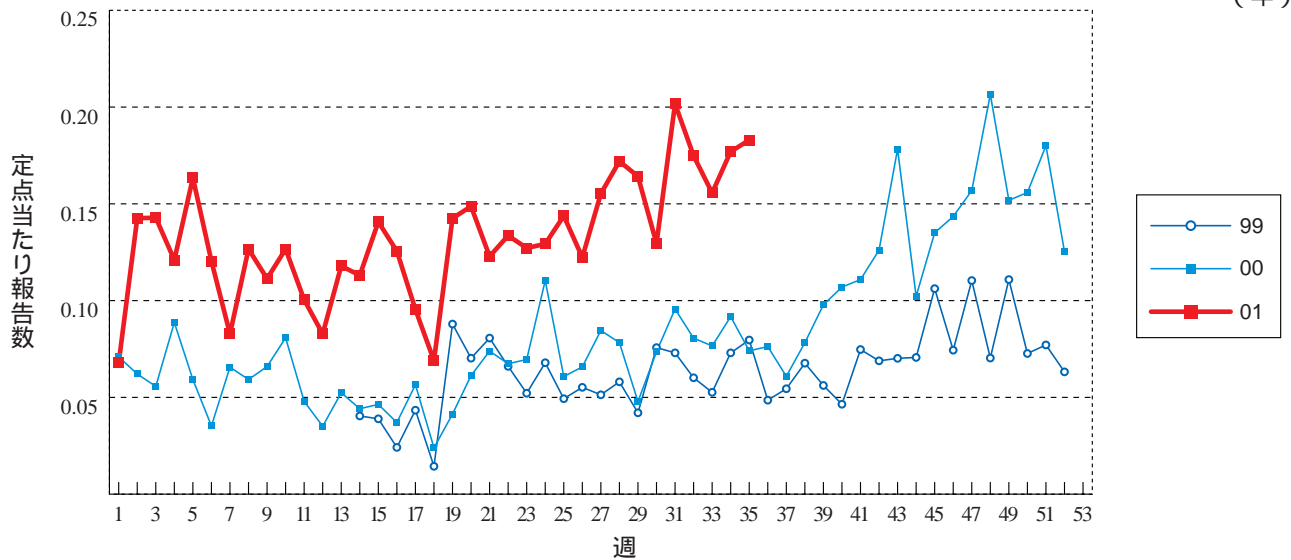


無菌性髄膜炎

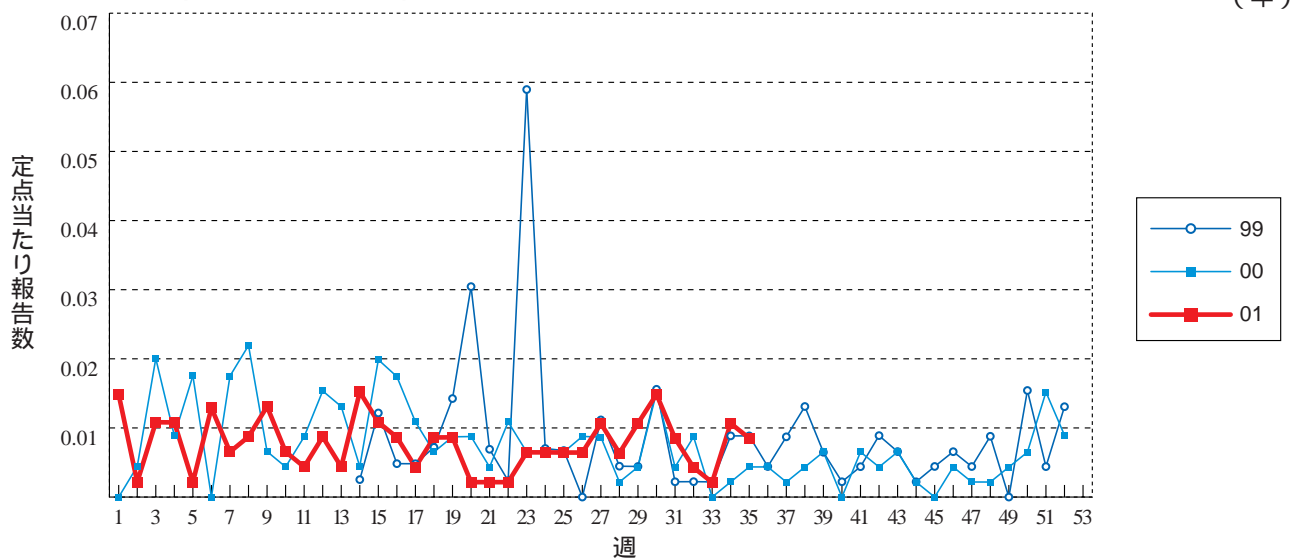
(年)



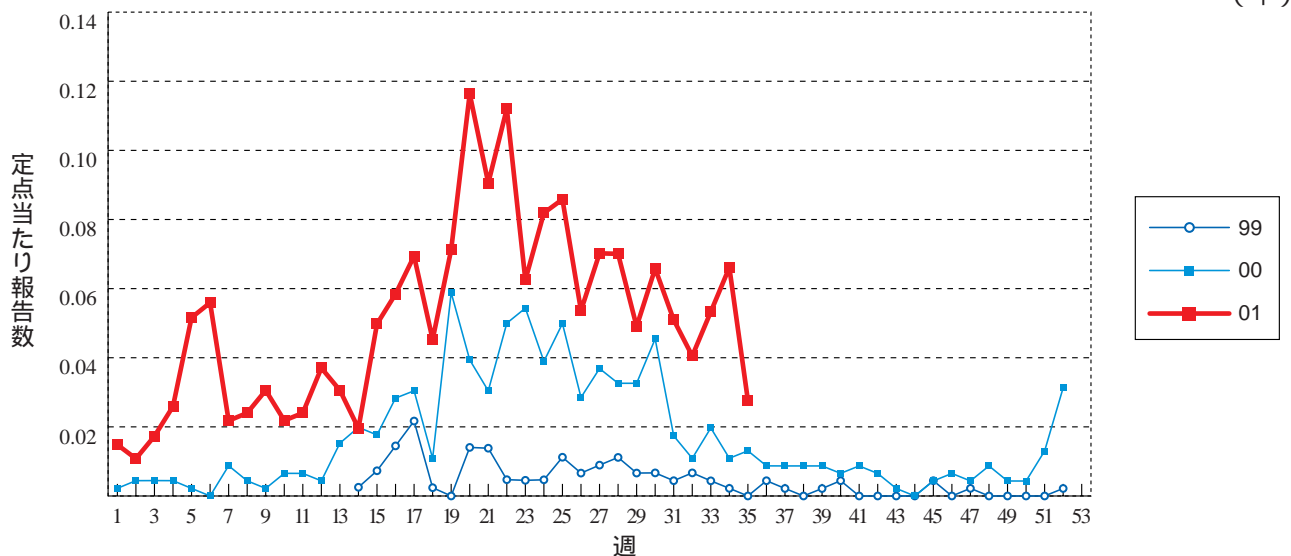
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹





35週のデータ

注)表中の報告数は9月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	36	19	440	1	48	1	12	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	-	2	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	21	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	24	-	4	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	5	87	-	15	1	8	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	33	-	1	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	28	-	4	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	37	-	6	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	27	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	2	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年35週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	218	3311	3	251	-	7	-	-	-	26	-	-	10	621
北海道	-	-	-	-	18	104	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	3	36	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	58	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	2	35	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20
秋田県	-	-	-	-	1	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	6	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福島県	-	-	-	-	2	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
栃木県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	2	51	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
埼玉県	-	-	-	-	35	180	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13
千葉県	-	-	-	-	7	338	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	27	259	1	73	-	-	-	-	-	7	-	-	1	87
神奈川県	-	-	-	-	3	227	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43
新潟県	-	-	-	-	3	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	2	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	46	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	9	43	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	22	53	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
岐阜県	-	-	-	-	1	11	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
静岡県	-	-	-	-	2	48	1	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	7	139	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	15
三重県	-	-	-	-	3	71	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	36	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	4	74	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
大阪府	-	-	-	-	12	273	-	37	-	-	-	-	-	3	-	-	2	65
兵庫県	-	-	-	-	3	177	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	3	59
奈良県	-	-	-	-	1	46	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	4	85	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	54	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
広島県	-	-	-	-	11	74	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	1	18
山口県	-	-	-	-	4	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
愛媛県	-	-	-	-	-	43	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	2	103	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
佐賀県	-	-	-	-	2	74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	3	60	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	6	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
大分県	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
宮崎県	-	-	-	-	1	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	2	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
沖縄県	-	-	-	-	1	14	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年35週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	14	-	-	-	4	1	71	-	34	8	576	-	1	2	93	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	1	23	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	1	41	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	5	-	4	2	233	-	-	2	43	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	1	58	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	11	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	1	9	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	23	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	9	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	49	-	-	-	13	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年35週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	1	-	-	1	199	-	32	-	20	-	1	-	-	6	350
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-	1	66
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	78
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年35週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	54	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	67	2	9	-	43
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
東京都	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	3	-	5
神奈川県	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年35週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	56	0.01	621	0.21	989	0.33	5478	1.81	1548	0.51	2274	0.75	879	0.29	3035	1.00	43	0.01
北海道	4	0.02	33	0.23	95	0.66	167	1.15	102	0.70	311	2.14	26	0.18	117	0.81	2	0.01
青森県	1	0.02	5	0.12	13	0.31	37	0.88	16	0.38	93	2.21	7	0.17	29	0.69	-	-
岩手県	1	0.02	2	0.05	5	0.14	26	0.70	31	0.84	17	0.46	10	0.27	28	0.76	-	-
宮城県	-	-	7	0.12	19	0.32	146	2.47	23	0.39	68	1.15	28	0.47	80	1.36	-	-
秋田県	-	-	3	0.09	12	0.34	72	2.06	11	0.31	110	3.14	32	0.91	33	0.94	-	-
山形県	-	-	9	0.30	21	0.70	26	0.87	12	0.40	52	1.73	17	0.57	45	1.50	-	-
福島県	1	0.01	2	0.04	5	0.10	81	1.69	14	0.29	16	0.33	5	0.10	50	1.04	1	0.02
茨城県	-	-	5	0.07	17	0.23	107	1.47	38	0.52	17	0.23	21	0.29	52	0.71	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	8	0.17	61	1.33	18	0.39	3	0.07	10	0.22	58	1.26	-	-
群馬県	-	-	14	0.23	25	0.41	90	1.48	27	0.44	23	0.38	15	0.25	67	1.10	1	0.02
埼玉県	-	-	52	0.33	43	0.27	286	1.80	96	0.60	82	0.52	76	0.48	182	1.14	4	0.03
千葉県	-	-	17	0.13	41	0.32	155	1.21	71	0.55	69	0.54	51	0.40	128	1.00	1	0.01
東京都	-	-	18	0.13	22	0.15	183	1.29	39	0.27	41	0.29	24	0.17	78	0.55	1	0.01
神奈川県	2	0.01	35	0.17	39	0.19	284	1.38	89	0.43	111	0.54	58	0.28	263	1.28	3	0.01
新潟県	-	-	18	0.30	31	0.52	120	2.00	50	0.83	63	1.05	-	-	70	1.17	-	-
富山県	1	0.02	2	0.07	15	0.52	49	1.69	7	0.24	18	0.62	5	0.17	28	0.97	-	-
石川県	-	-	5	0.17	2	0.07	111	3.83	10	0.34	81	2.79	7	0.24	21	0.72	2	0.07
福井県	-	-	4	0.18	6	0.27	106	4.82	21	0.95	73	3.32	9	0.41	23	1.05	-	-
山梨県	1	0.02	-	-	6	0.24	26	1.04	13	0.52	4	0.16	3	0.12	9	0.36	-	-
長野県	-	-	25	0.46	40	0.74	140	2.59	27	0.50	132	2.44	8	0.15	59	1.09	-	-
岐阜県	8	0.11	11	0.23	14	0.30	30	0.64	32	0.68	53	1.13	16	0.34	37	0.79	2	0.04
静岡県	-	-	29	0.34	28	0.33	174	2.02	29	0.34	76	0.88	20	0.23	99	1.15	-	-
愛知県	-	-	43	0.24	74	0.41	295	1.62	91	0.50	116	0.64	81	0.45	165	0.91	4	0.02
三重県	-	-	28	0.62	11	0.24	141	3.13	34	0.76	39	0.87	26	0.58	57	1.27	-	-
滋賀県	-	-	13	0.41	14	0.44	27	0.84	16	0.50	11	0.34	5	0.16	20	0.63	-	-
京都府	-	-	9	0.12	24	0.32	151	1.99	33	0.43	30	0.39	14	0.18	55	0.72	1	0.01
大阪府	-	-	14	0.07	45	0.23	349	1.80	104	0.54	29	0.15	30	0.15	180	0.93	2	0.01
兵庫県	-	-	16	0.13	23	0.18	295	2.34	83	0.66	55	0.44	34	0.27	151	1.20	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	14	0.40	62	1.77	25	0.71	5	0.14	21	0.60	26	0.74	-	-
和歌山県	-	-	9	0.29	10	0.32	43	1.39	10	0.32	17	0.55	5	0.16	25	0.81	1	0.03
鳥取県	-	-	7	0.37	21	1.11	63	3.32	9	0.47	23	1.21	-	-	17	0.89	-	-
島根県	-	-	3	0.13	4	0.17	37	1.61	7	0.30	9	0.39	-	-	11	0.48	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	10	0.19	80	1.48	24	0.44	29	0.54	6	0.11	33	0.61	-	-
広島県	-	-	49	0.66	20	0.27	134	1.81	24	0.32	37	0.50	17	0.23	63	0.85	4	0.05
山口県	-	-	5	0.10	23	0.47	112	2.29	19	0.39	26	0.53	12	0.24	67	1.37	-	-
徳島県	-	-	-	-	10	0.43	53	2.30	17	0.74	9	0.39	7	0.30	22	0.96	-	-
香川県	-	-	-	-	10	0.31	59	1.84	21	0.66	37	1.16	22	0.69	33	1.03	1	0.03
愛媛県	-	-	11	0.28	27	0.69	113	2.90	26	0.67	39	1.00	14	0.36	54	1.38	1	0.03
高知県	-	-	22	0.71	9	0.29	22	0.71	9	0.29	2	0.06	4	0.13	31	1.00	1	0.03
福岡県	27	0.15	34	0.32	41	0.39	306	2.91	57	0.54	29	0.28	49	0.47	137	1.30	6	0.06
佐賀県	-	-	10	0.43	9	0.39	17	0.74	11	0.48	10	0.43	9	0.39	46	2.00	1	0.04
長崎県	-	-	4	0.08	6	0.13	54	1.13	17	0.35	81	1.69	16	0.33	46	0.96	-	-
熊本県	-	-	8	0.16	25	0.51	77	1.57	21	0.43	50	1.02	15	0.31	57	1.16	-	-
大分県	-	-	7	0.19	14	0.39	176	4.89	31	0.86	14	0.39	8	0.22	63	1.75	3	0.08
宮崎県	-	-	12	0.32	22	0.59	151	4.08	27	0.73	30	0.81	24	0.65	56	1.51	-	-
鹿児島県	6	0.06	14	0.23	14	0.23	152	2.53	33	0.55	27	0.45	10	0.17	47	0.78	-	-
沖縄県	4	0.07	1	0.03	2	0.06	32	0.94	23	0.68	7	0.21	2	0.06	17	0.50	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年35週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	42	0.01	2654	0.88	278	0.09	4094	1.36	18	0.03	866	1.37	2	0.00	3	0.01	30	0.06
北海道	-	-	296	2.04	35	0.24	144	0.99	-	-	34	1.17	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	190	4.52	2	0.05	56	1.33	-	-	16	1.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	78	2.11	1	0.03	23	0.62	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
宮城県	5	0.08	76	1.29	8	0.14	27	0.46	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	119	3.40	1	0.03	20	0.57	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	59	1.97	-	-	63	2.10	-	-	5	0.63	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	29	0.60	4	0.08	40	0.83	1	0.08	21	1.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	4	0.05	34	0.47	12	0.16	106	1.45	-	-	54	3.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	24	0.52	2	0.04	44	0.96	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	41	0.67	4	0.07	43	0.70	1	0.07	12	0.86	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	81	0.51	9	0.06	173	1.09	1	0.03	31	0.86	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	83	0.65	4	0.03	141	1.10	-	-	37	1.12	1	0.08	-	-	-	-
東京都	1	0.01	56	0.39	9	0.06	101	0.71	-	-	16	1.14	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	2	0.01	100	0.49	10	0.05	238	1.16	1	0.02	44	1.05	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	50	0.83	1	0.02	125	2.08	-	-	10	1.11	-	-	-	-	3	0.23
富山県	1	0.03	87	3.00	-	-	67	2.31	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	18	0.62	-	-	153	5.28	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	14	0.64	-	-	46	2.09	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	14	0.56	1	0.04	33	1.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	65	1.20	2	0.04	107	1.98	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	23	0.49	15	0.32	83	1.77	2	0.18	3	0.27	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	65	0.76	9	0.10	139	1.62	-	-	19	0.95	-	-	-	-	3	0.38
愛知県	-	-	70	0.38	25	0.14	260	1.43	3	0.09	28	0.80	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	33	0.73	2	0.04	69	1.53	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	19	0.59	-	-	40	1.25	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	46	0.61	2	0.03	83	1.09	2	0.11	21	1.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	113	0.58	19	0.10	227	1.17	1	0.02	31	0.60	-	-	1	0.08	3	0.25
兵庫県	4	0.03	83	0.66	3	0.02	126	1.00	1	0.03	37	1.09	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	15	0.43	3	0.09	37	1.06	-	-	8	0.89	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	26	0.84	2	0.06	71	2.29	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	48	2.53	-	-	6	0.32	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	22	0.96	2	0.09	6	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	2	0.04	31	0.57	2	0.04	58	1.07	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	5	0.07	42	0.57	5	0.07	75	1.01	-	-	35	1.75	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	45	0.92	6	0.12	48	0.98	-	-	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	7	0.30	-	-	34	1.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	18	0.56	-	-	46	1.44	-	-	22	7.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	73	1.87	-	-	81	2.08	-	-	34	4.86	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	30	0.97	2	0.06	5	0.16	-	-	8	2.67	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	3	0.03	74	0.70	21	0.20	218	2.08	-	-	58	2.42	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	6	0.26	6	0.26	84	3.65	-	-	4	1.00	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	2	0.04	39	0.81	20	0.42	25	0.52	4	0.40	21	2.10	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	56	1.14	5	0.10	89	1.82	-	-	62	6.89	-	-	1	0.07	3	0.20
大分県	-	-	48	1.33	4	0.11	67	1.86	-	-	7	1.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	71	1.92	2	0.05	89	2.41	-	-	38	9.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	35	0.58	2	0.03	127	2.12	-	-	27	4.50	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	2	0.06	16	0.47	151	4.44	-	-	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年35週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	86	0.18	4	0.01	13	0.03
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	1	0.08	-	-
秋田県	4	0.57	-	-	-	-
山形県	1	0.10	1	0.10	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	-	-
東京都	4	0.16	-	-	3	0.12
神奈川県	1	0.09	-	-	1	0.09
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	3	0.50	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	0.50	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	1	0.08
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.42	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	1	0.07	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	5	0.24	-	-	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	4	0.27	-	-	1	0.07
佐賀県	4	0.67	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	-	-	-	-
大分県	4	0.40	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	7	1.00

感染症週報 第3巻、第35号 平成13年9月14日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。